
なにかもうくるしいが為の衝動にかられて。

羽根羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なにかもつくるしいが為の衝動にかられて

【Nコード】

N3086BA

【作者名】

羽根羅

【あらすじ】

最初に言葉にしたのは誰だろう。

思い始めたのはいつからだろう。

あなたは解放されたいと願ったことはないか。

僕は将来なにをして生きているんだろう。

今の安住は確実に失くなる。けして遠くない未来。それに怯えているというだけで既に安住は無いのかもしれないと思う。

あ、いいや違うよ。違うってあれだよ、あなたがどう受け取ったかわからないけれど、変な宗教とかじゃあないんだ。僕が言っているのは、僕自身の、社会的な都合さ。

それこそノストラダムスの大予言通り世界が滅びれば楽だったさ。

ああどんなに楽だっただろう！

何が言いたいかって僕がとても不安だってことを伝えたい。自分の一寸先の事が怖いんだ。だって…。

そうだな。

今、一生添い遂げたいと思いつながら交際させてもらっている異性がいる。添い遂げるために僕は、自立をする必要がある。稼いで、その人も食べさせていく力をつけなくてはいけない。こんなご時世だし向こうも働くだろうが、それを当てにするなんて僕は恥ずかしいからできない。

少なくともやっぱり、安定した収入が必要で、今の僕にはそれが無い。

じゃあ僕はそのために今なにをしたらいいんだ？
なにをさせてもらえるんだ？

「見えない事」なんかしたくない。なのにどいつもこいつも「見えないこと」が大事で大切で、それが絶対じゃないと知っていてもあたかも絶対のような結果があるからそれが絶対だと信じている。

でもその絶対だと信じられている、絶対じゃないそのの、絶対じゃない部分は見ないふりするんだ。口では、そうかもしれないって言うっていても、皆、頭ではそんなことありえないってなんだか信じているんだ。

僕には絶対が信じられず、「そうでない部分」が怖くてならない。絶対を疑いながら、それについて頑張る根性もない。先が見えないからってのは言い訳で、「根性がない」が正しいのかもわからない。

歳をとってから僕は、毎日ヒイヒイ喘ぎながらわけもわからず生きているんだろうか。汚れた目をして、常に不幸だ不幸だって嘆きながら、それでも生きているんだろうか。

信じたくないが有り得ない話じゃない。
それを防ぐにはやっぱり「見えない」下が必要で、でもやりたくない。

考えてると楽になりたくなる。

死ねたら、総てから解き放たれるのに。

僕を苛ませているのは総てのくせして、僕を生かしているのは総てなんだ。生きる気力だけ剥ぎ取って、理由やしがらみは残している。

いっそ殺してくれ。苦しくないように息の根をとめてくれ。

どうにでもなれって叫びながらさ。

嗚呼、死ぬことができたらどんなに楽だろう！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3086ba/>

なにかもうくるしいが為の衝動にかられて。

2012年1月8日01時52分発行